

牛久：学校周辺に見る自然

第7号 ひたち野西近隣公園

2015年10月29日発行

＜動物のすみかをしらべよう ～秋のみずべ公園 ⑦ 鳥＞

9月24、29日、ひたち野うしく小3年生とのみずべ公園。テーマは「動物のすみかをしらべよう」。今回ご紹介するのは、鳥。夏鳥のツバメが去って、早ければそろそろ冬鳥が…と思いましたが、やはりまだちょっと早かったようです。



一年通して多く見られる水鳥、カルガモ(左上)、カワウ(左下)、カイツブリ(右)。



まずは水鳥から。一年中、いつ来てもたいい会えるのは、カルガモでしょう。くちばしが黒くて、先端だけが黄色いのが特ちょうです。続いてやはり一年通じて多いのが、カワウ、カイツブリでしょうか。カルガモは水面に浮かぶ草の種子や水草を食べ、カワウは魚を丸飲み、カイツブリは盛んにもぐって魚や昆虫を食べます。

続いて陸鳥。水辺に降りてエサを探していたのはハクセキレイ。歩きながらエサを探し、食べます。

キジバトも、地面をつついてエサ探しでした。

カワセミはこの日には見かけませんでしたが大勢で押しかけたので隠れていたのかもしれませんが。写真は、9/28の午後に撮影したものです。大きなくちばしで魚を捕え、食べます。

そして9/24の観察が終わりに近づいたころ、タカの仲間、ノスリが、上昇気流にのって見る見る上空に上って行きました。

【理科支援員：宮内】



一年通し多く見るハクセキレイ(左上)とキジバト(右上)。飛ぶ青い宝石カワセミ(左下)とタカの仲間、ノスリ(右中下)。